

日本オリエント学会第 64 回年次大会プログラム  
2022 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）  
会場：東京大学駒場 I キャンパス（対面と Zoom の併用）

第 1 日 10 月 29 日（土）14：00～17：30

公開講演会・学会奨励賞授賞式

会場：21KOMCEE West レクチャーホール

13：30 開場

14：00～14：15 開会挨拶（日本オリエント学会第 64 回年次大会実行委員長 高橋英海）

開催校挨拶（東京大学大学院総合文化研究科長 森山工）

14：15～16：45 第 329 回公開講演会「地中海・西アジアの大帝国——古代から近世まで——」

第 1 講演 阿部拓児（京都府立大学文学部・准教授、アケメネス朝史）

「アケメネス朝ペルシア——世界の統治者と閩の住民——」

第 2 講演 小林功（立命館大学文学部・教授、ビザンツ帝国史）

「ローマとイランの覇権の終わり？」

第 3 講演 小笠原弘幸（九州大学大学院人文科学研究院・准教授、オスマン帝国史）

「アッバース帝国からオスマン帝国へ」

司会 守川知子（東京大学大学院人文社会系研究科・准教授）

16：45～17：00 閉会の挨拶（日本オリエント学会会長 近藤二郎）

17：00～17：30 第 44 回オリエント学会奨励賞授賞式

第 2 日 10 月 30 日（日）10：00～16：05

研究発表会

会場：12 号館

- 発表要旨を 10 月 24 日（月）頃に学会 HP 上にアップロードします。
- 研究発表：個人（それぞれの発表は 20 分、質疑応答は 5 分でお願いいたします）
- 研究発表：企画セッション（個人とはタイムスケジュールが異なりますので、プログラムをご確認下さい）

第 1 部会（オンライン）

	時間	発表者	発表題目
1	10:00～10:25	川上直彦	南メソポタミア北部地域におけるティグリス川古代流路——復元流路に対する GIS 及び歴史地理学的分析による考察——
2	10:30～10:55	堀岡晴美	ファラ文書とは——キシユ領域国家支配下の宿駅アーカイブ——

3	11:05～11:30	西山伸一	クルディスタン地域にみる帝国境界域の支配構造——イラク・クルディスタン地域、ヤシン・テペ考古学プロジェクトからの考察——
4	11:35～12:00	村上武則	クルディスタン諸地域における多言語使用
昼食休憩			
5	13:00～13:25	竹野内恵太	国家形成期の地域社会における在地系譜集団の解体と新興権威の編入——エジプト原・初期王朝時代のアブ・ロアシュ遺跡とタルカン遺跡の墓地構成および景観からみた集団構成の変容——
6	13:30～13:55	藤井信之	東京大学総合研究博物館所蔵のネクタネボ隼像について
7	14:05～14:30	吹田浩・吹田真里子	エジプト、サッカラのイドゥートの壁画の復元プロジェクトの成果
8	14:35～15:00	関広尚世・Stuart Tyson Smith	スーダン考古学的文脈での主要用語の再定義——Askut と Tombos の発掘成果を踏まえて——
9	15:10～15:35	鈴木慎也	スリランカ・ポロンナルワ周辺部の貯水池群の様相——高精度 DTM を用いたワスゴムワ国立公園内の貯水池検出について——

## 第2部会（ハイブリッド）

	時間	発表者	発表題目
1	10:00～10:25	伊藤結華・馬場匡浩	早稲田大学會津八一記念博物館所蔵の「黒頭赤器手付碗」
2	10:30～10:55	馬場匡浩・宮崎滯菜	ダハシュール北遺跡の神官タの墓
3	11:05～11:30	進藤瑞生・馬場匡浩	カノポス壺の変遷と棺・「死者の書」からの影響——ダハシュール北遺跡出土資料を中心に——
4	11:35～12:00	高橋寿光	古代エジプト新王国時代のアンフォラの編年について
昼食休憩			
5	13:00～13:25	山田綾乃	クフ王第2の船の天蓋梁配列と刻まれた2種類の番付
6	13:30～13:55	柏木裕之	船坑の特徴から探るクフ王第2の船の当初計画
7	14:05～14:30	山崎世理愛	エジプト中王国時代末期の葬送儀礼にみられる伝統の変化とその継承

8	14:35～15:00	肥後時尚	古代エジプト第 18 王朝時代の『死者の書』における冥界の判事について
9	15:10～15:35	遠藤颯馬	ラメセス朝における軍人階級の興隆とその意義について
10	15:40～16:05	岡部睦	エジプト、グレコ・ローマン時代におけるテラコッタ製女神像の展開に関する一考察——北サッカラ遺跡、カタコンベ出土資料の類型分析を中心に——

### 第3部会（ハイブリッド）

	時間	発表者	発表題目
1	10:00～10:25	足立拓朗	南レヴァント、ガッスル文化の土器と乳製品利用
2	10:30～10:55	辻坂真也	ウル第三王朝期の神格化とエンリル
3	11:05～11:30	有松唯	北東ペルシャにおける後期青銅器時代からメディア期にかけての集落動態
4	11:35～12:00	柴田大輔	ヘレニズム時代のウルクにおけるシュメル語祈祷
昼食休憩			
5	13:00～13:25	内記理	仏像出現にかかわる歴史的な文脈
6	13:30～13:55	徳永里砂	サウジアラビア北部の碑文遺跡ワーディー・アルヒルカの通時的考察
7	14:05～14:30	赤司千恵・中山誠二	シルクロードの食文化史
8	14:35～15:00	下山繁昭	川原寺の国際性

### 第4部会（午前中：ハイブリッド、午後：オンライン）

	時間	発表者	発表題目
1	10:00～10:25	中村菜穂	モハンマド・タギー・パハールにおけるサブク概念の検討
2	10:30～10:55	五十嵐小優粒	ペルシア語形容詞の段階性から見た過去分詞型形容詞の役割
3	11:05～11:30	原陸郎	イブン・カイイム・ジャウズィーヤのスーフィズム実践——「預言者の模倣」を中心に——
4	11:35～12:00	棚橋由賀里	16世紀モロッコにおける「タリーカ・ジャズーリーヤ」のスーフィーたちの思想と活動
昼食休憩			
5	13:00～13:25	法貴遊	カラームの学でアラビア語が規範となっていることに関するユダヤ・イスラーム間の論争について

6	13:30～13:55	太田（塚田） 絵里奈	15世紀ウラマーの名目的師弟関係——「イステイド ウアーのイジャーザ」に基づく関係構築——
7	14:05～14:30	榮谷温子	アラビア語の関係代名詞とは何か——イブン・アキ ールとイブン・ヒシャームの記述の比較を中心に——
8	14:35～15:00	鈴木 均	ホメイニーのヴェラーヤテ・ファギーフ論と西欧民 主主義——序論的考察——
9	15:10～15:35	米田優作	現代エジプトにおけるサラフィー主義者の政治観 ——ダアワ・サラフィーヤの政党設立を手がかりに——

#### 第5部会（ハイブリッド）

	時間	発表者	発表題目
1	10:00～12:15	企画セッション「前近代イスラーム史料研究の新地平」	
	10:00～10:25	中町信孝	アラビア語年代記史料校訂の実践と展望
	10:25～10:50	荒井悠太	歴史家としてのイブン・ハルドゥーンを読む——理 性／伝統の二項対立を越えて——
	10:50～11:15	杉山雅樹	ティムール朝の諸史料にみる非合法税
	11:15～11:40	久保亮輔	15～16世紀エジプトにおけるワクフ経営の多様化
	11:40～11:50	磯貝健一	コメント1
	11:50～12:00	渡部良子	コメント2
	12:00～12:15		質疑応答
昼食休憩			
2	13:00～13:25	宮川創・ Mona Sawy	コプト語医学パピルス文献におけるアラビア語・ギ リシア語からの借用語の音韻論
3	13:30～13:55	矢口直英	イスラーム世界の解剖学再考
4	14:05～14:30	亀谷学	初期イスラーム時代カリフ政権と書物としてのク ルアーン
5	14:35～15:00	Alexander Mallett	Imad al-Din al-Isfahani's Account of the Battle of Hattin: Typology as a Strategy of Legitimation in Medieval Islamic Narratives
6	15:10～15:35	近藤信彰	サファヴィー帝国におけるディーヴァーン起草の 勅令について
7	15:40～16:05	三谷美晴	近世エジプトにおける古物収集とヨーロッパ人